

# 工学部

## 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 【教育理念】

工学部では、快適な生活や社会のために時代のニーズとシーズを読み取り、次の時代に期待されるモノやサービスの創出に正面から取り組むことのできる人材を育成することを目的としています。

### 【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、工学部は次のような資質および意欲をもつ学生を求めます。

- (1) 人の生活を豊かにする方法に興味をもち、現代的技術を使って実現したいと望む人
- (2) 科学技術の分野に興味があり、その分野で社会に役立つ仕事をしたいと望む人
- (3) 芸術、文化、歴史、社会等の広い範囲に興味があり、そのことに科学技術を使ってみたい人
- (4) 主体的に学び、考え、実行し、反省することができる人
- (5) 創意、発見する知の探究マインドを持っている人
- (6) そのための基礎学力と学習習慣を身につけている人

### 【入学者選抜の基本方針】

多彩な人材との交流による知識の融合と、他者の理解による自己特性の認識を深めるため、多様な選抜方法を利用して、多面的・総合的に評価します。いずれの選抜方法においても、調査書等を用いて高等学校段階までの履修状況を確認します。受験希望者は高等学校までに学ぶ数学、理科、国語、外国語、地理歴史・公民について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。特に、理科、数学、英語は十分な学修をしていることが望まれる科目です。多様な学生を選抜するために、各入試方法で科目と配点を区別します。

#### 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストを課します※。さらに、問題解決力を問うため、筆記試験による個別学力検査を課し、基礎学力と理数系の思考力・判断力・表現力等を評価することで、基礎学力と学習習慣を身につけている人を重視します。また、理数系の能力においても得意分野の多様性を求めるために、前期日程では理科の能力を重視して、理科（分野の特性から物理、化学、生物の中から1つを選択）、英語、数学の個別学力検査を行い、数学は数学（Ⅰ、Ⅱ、A、B）※を範囲とします。

#### 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストを課します※。さらに、問題解決力を問うため、筆記試験による個別学力検査を課し、基礎学力と理数系の思考力・判断力・表現力等を評価することで、基礎学力と学習習慣を身につけている人を重視します。また、理数系の能力においても得意分野の多様性を求めるために、後期日程では数学の能力を重視して、数学全科目（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B）※を範囲とします。

### 学校推薦型選抜

大学入学共通テスト※の結果に加え、書類審査と面接（口述試験を含む）により、専門領域についての関心に加え、コミュニケーション能力として自己表現能力、協調性、理解度、そして工学系分野で社会へ貢献することの意欲などを総合的に評価します。

### 総合型選抜 探究力入試「Q」

大学入学共通テストを課さない特別入試とし、多様な学生を選抜するため2つの異なる評価基準(Q<sup>2</sup>とQ<sup>3</sup>)で選抜します。

Q<sup>2</sup>では第1次選考で高等学校における学習および活動を示す書類から基礎学力と学習習慣が身についていることを評価します。第2次選考で実施するグループワークによるデータ処理作業などによっても基礎学力を問い、ブレインストーミングやディベートなどによって「多彩な人材との交流による知識の融合」と「他者の理解による自己特性の認識」の観点から、科学技術分野への興味と意欲、技術者としての適性や主体性、多様な人々と協働する姿勢などを多面的に評価します。

Q<sup>3</sup>では課題創造力および問題探究能力を中心に評価するために、第1次選考では中等教育課程における課題研究活動を踏まえ、提出課題から主体的な学修姿勢、新たな課題の創造と問題探究能力を評価するとともに、高等学校における学習および活動を示す書類から学習習慣が身についていることを評価します。第2次選考では、提出課題に関するプレゼンテーションおよび質疑応答から、専門領域についての関心に加え、主体的・協働的な学びを行うためのスキルと態度、課題創造力、問題解決力、コミュニケーション能力、理解度、意欲などを総合的に評価します。

### 高大接続カリキュラム開発プログラムに基づく特別入試

奈良女子大学附属中等教育学校を含む対象校※※において、高大接続文理統合探究コースを受講し修得見込みの者を対象に、コースごとに、探究活動の発表、探究活動に関する論文、調査書、志望理由書、高大接続文理統合探究コースの履修状況等をもとに、適性等を総合的に評価します。

### 第3年次編入学入試

編入後の勉学に支障をきたさないよう本学部のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を有しているかを見るために、提出書類、筆記試験および面接により総合的に評価します。筆記試験および面接では、基礎学力や専門分野の学力を見るとともに、専門領域についての関心に加え、古都奈良にある伝統と文化、本学の多彩な教養教育にも興味を有し、主体的・協働的な学びを行うためのスキルと態度、課題創造力、問題解決力、コミュニケーション能力、理解度、意欲などを総合的に評価します。

※令和7年度入学者選抜以降における実施教科・科目（大学入学共通テスト利用教科・科目及び個別

学力検査の出題教科・科目等は、別途公表した教科・科目の内容となります。  
※※対象校については本学ホームページ「学部入試（学生募集等）」に別掲